

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	I Le 埼玉 ファム			
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 23日		～	令和8年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	0名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 24日		～	令和8年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 16日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団の環境を活かし、マンツーマンに近い丁寧な関わりが行える。	小集団の特性を活かし、マンツーマンに近い関わりの中で、一人ひとりの特性や課題に応じた個別的な支援を行っている。	手厚い職員の関わりのもと、他児との関わりの中でコミュニケーション力の向上や社会性の育成、集団行動の習得につながる支援の充実を図っていく。
2	同一グループ内で医療機関との連携体制が整っている。	医療的・専門的な視点を踏まえた支援が可能であり、児童一人ひとりの特性に応じた適切な関わりにつなげている。(関係機関連携加算等)	多職種と連携が図りやすい環境にあるため、それぞれの専門性を活かした多角的な支援につなげていく。
3	交流センターや児童館、公園などへの外出機会が多く、地域の子供達との交流機会を多く確保している。	外出先で地域の子供達との自然な関わりが生まれるよう、活動場所や時間帯の工夫を行い、無理のない形で交流できる環境づくりを意識している。	地域の子供達との関わりを通して、コミュニケーション力や社会性の向上につながるよう、外出活動の内容や関わり方の工夫を重ね、より質の高い交流機会の充実を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童数の関係から、集団での療育の機会が限定的である。	事業開始間もないことから、利用児童数が限られていることが要因となっている。	少人数であっても実施可能な集団活動(ルール遊びや協同課題等)を計画的に取り入れ、集団での関わりを確保していく。
2	多機能型事業所であることから、放課後等デイサービスとの運営調整により、提供日や提供時間に制約が生じてしまう。	特性の異なる利用児童への支援を同一事業所内で行っていることから、安全面や支援内容に配慮し、時間帯や利用日を分けて運営をしていることが要因となっている。	別室の活用を含めたスペースの区分と職員体制の充実を図り、柔軟な受け入れができる体制づくりを検討していく。
3			